

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	32	学校名	仙台市立生出小学校	校長名	上原 広樹
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

こどものまち「生出スマイルフラワータウン」でSDGs!



今年のオリジナルキャラクター「フラワーズ」です。1年生と5年生の姉妹が考えました。



2 取組の紹介

本校では、昨年に引き続き、「こどものまち」と称し、流通する通貨を設定し金銭の受け取りや支払いを行う、仮想空間の街を楽しむ行事を行いました。

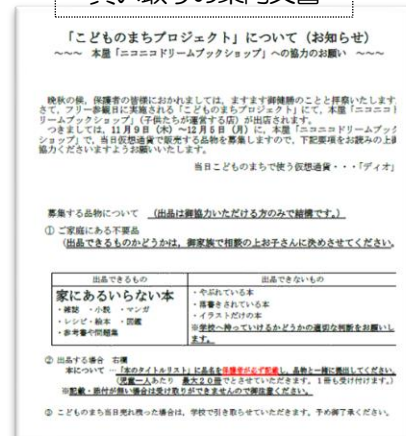
今年度は、始めに5・6年生でどんなこどものまちにしたいか話し合い、「みんなでつくる心地よいまち～生出に笑顔の花が咲く～」というキャッチフレーズが決まりました。笑顔の花が咲くまちにはどんなお店が必要か、更に話し合いを重ね、絞り込んでいき、今年度も市役所を含め6店舗の展開になりました。3年生以上がお店の店員として「こどものまち」を運営します。1・2年生は「こどものまち」の飾り付けを担当し、当日はお客さんとして街を盛り上げました。全校児童、保護者、職員、地域の方々等が街を楽しむためには住民登録をして住民税を払う必要があります、納税するとオリジナルキャラクターの缶バッジをもらうことができます。缶バッジは「こどものまち」の住人の証です。

松ぼっクリスマスツリー



新聞社「スマイル新聞社」、映画館「わくどき映画館2」など昨年度に引き続き出店する中、今年度はハンドメイド「レインボーハンドメイドショップ」と本屋「ニコニコドリームブックショップ」が今年は復活し注目されました。

買い取りの案内文書



ハンドメイド「レインボーハンドメイドショップ」では、身の回りにあるリサイクルできる素材を仕入れ、その素材をリメイクし、販売するという内容のお店です。今回は、ペットボトルのふたで何かできないかと考えました。12月ということで学校の庭にある松ぼっくりを収穫し、松ぼっクリスマスツリーを制作しました。

集まった本



本屋「ニコニコドリームブックショップ」では、児童が考えた本や児童や保護者、職員に呼びかけ、自宅にある不要となった本を買い取り、販売するという内容のお店です。児童は、「どんなものが売っているかな。」「こんな本があったら買いたいな。」と当日に向けて大きな期待を寄せていました。絵本や料理本、小説等たくさんの商品が集まりました。継続してきた「こどものまち」が保護者・地域の皆様にも少しずつ浸透してきており、「こどものまちのために、本や端切れをまとめておきました。」という声も聞こえてきて、児童と共に、保護者・地域の皆様の意識も年々高まっており感心します。また、働いて受け取ったお給料で買う商品は特別のようです。SDGsの目標12「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」の中に「持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」があります。この目標に沿った活動を今年度も継続して取り組むことができました。

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

実社会につながる体験活動「こどものまち」を継続して取り組むことで、児童や保護者、地域の皆様にも「こどものまち」、「リサイクルショップ」が浸透し、自宅にある物を「リユース」「リサイクル」という視点で考えることができるようになっており、物を大切に使う姿勢が育ってきています。